

2015年1月吉日

お客様各位

株式会社 東陽テクニカ
情報通信システム営業部

「米国 Spectracom 社製 SecureSync」の NTP 機能の脆弱性に関して

拝啓 貴社ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は弊社製品をご利用いただき厚く御礼申し上げます。

さて、2014年12月22日に Network Time Protocol daemon (ntpd) に関して複数の脆弱性が発見された旨の発表がありました。この脆弱性につきまして、弊社が販売しております米国 Spectracom 社製 SecureSync（以下、SecureSync）での影響と対処方法等をご案内申し上げます。発見された脆弱性の中には、不正に細工された NTP パケットを受け取ることで、サーバが乗っ取られる可能性がある危険なものが含まれております。下記ご対応のほど、よろしく願いいたします。

今後とも弊社サービスをご愛顧賜りますようお願いいたします。

敬具

—記—

1. 概要

本脆弱性はリモートで NTP サーバのステータスや設定を変更するためのツールである NTPQ や NTPDC を使用する際に影響を受ける可能性があります。そのため、本脆弱性による影響を回避するためには、これらのツールを無効化する必要があります。

デフォルトでは、この設定は無効です。念のため、下記に従い、これらのツールの有効/無効を確認し、有効となっている場合は無効化します。

2. 確認と変更手順

バージョンにより異なります。

(1) Ver5.1.2 またはそれ以上の場合

●確認方法：

Management -> NTP Setup ページの左側にある“Access Restrictions” ボタンを押して表示される NTP Access Restriction 表中の NTP Query 欄を確認します。

●変更手順：

(i) NTPQuery 欄が空白となっている場合

NTPQ や NTPDC は無効のため、対処は不要です。

(ii) NTPQuery 欄に 1 と表示されている場合

NTPQ や NTPDC は有効のため、下記手順で無効化していただく必要があります。

1. NTPQuery 欄の右側にある Change ボタンを押し、ウインドウを開きます
2. Allow NTP Queries 欄のチェックボックスのチェックを外し Submit を押します
3. NTPQuery 欄が空白となっていることを確認します。

(2) Ver5. 1.2 以下の場合

●確認方法：

Network-> NTP Setup ページの NTP Access タブにて表示される下記 2 点の設定項目の
チェックボックスを確認し、次のとおり対処をお願いいたします。

‘Allow queries from NTPDC or NTPQ over IPV4’

‘Allow queries from NTPDC or NTPQ over IPV6’

●変更手順：

(i) 上記項目にチェックが入っていない場合

NTPQ や NTPDC が無効であることを示しているため、対処は不要です。

(ii) 上記項目にチェックが入っている場合

NTPQ や NTPDC が有効であることを示しています。

チェックを外した後 Submit を押すことにより無効化します。

3. 今後の対応について

2015 年の 6 月までに本脆弱性が修正されたソフトウェアがリリースされる予定です。リリースされま
したら別途ユーザ様へご案内申し上げます。

4. 本件に関するお問い合わせ

株式会社東陽テクニカ 技術 4 課 Spectracom 社製品担当

Mail to: spectracom@toyo.co.jp

以上